

# 箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人二本ユネスコ協会連盟  
箕面ユネスコ協会事務局  
〒562-0013  
箕面市坊島 4-5-20  
みのおキューズモール2Fみのお市民活動  
センター内 箕面ユネスコ協会（メールボックス）  
E-mail [sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp](mailto:sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp)

## ◆ 目次 ◆

- 2014年度 総会 報告
- 東日本大震災被災地とつながる「東北ボランティア」
- お知らせ



## 2014年度 総会を開催しました

5月25日（日）に萱野小学校視聴覚室で2014年度総会を開催しました。

総合司会の垣内 啓治副会長の開催宣言により、来賓代表の藤迫 稔萱野小学校校長からご挨拶をいただきました。次に山北 智先生の議長で議事進行が行われ、昨年度の活動報告として箕面ユネスコが特に力を注いだ活動を報告しました。

最初に坂口 一美会長から東日本大震災と教育現場をつなぐ取りくみである止々呂美小・中学校の総合学習「めざせ！止々呂美ボランティアーズ」への関わり、被災地訪問、近畿ブロックユネスコ活動研究大会での発表の様子、気仙沼の食を楽しむ会、などの年間を通じた報告があり、前田 ひとみ理事より、市民活動フォーラムみのお主催による東日本大震災復興支援イベント参加の報告へと続けました。

次に大浜 淳子先生より、豊川南小で実践された総合学習「大切なみんなの『いのち』」の最終報告があり、震災を通じて自分たちの身の回りの課題を考え、被災地を忘れない、命のことを考える、ということと共に学んだ様子がかがえ、こどもたちの成長のすばらしさを感じる事ができました。

最後に中嶋 嘉伸さんから、毎年タイのスラムを訪問し地元のNPOと協力し、街づくりに関わられている様子や現状について、お話していただきました。箕面ユネスコ世界寺子屋運動として、会員の皆様にご協力いただいた鉛筆は、今後も中嶋さんが関わられるフィリピン・タイ・カンボジアの地域のこどもたちへの応援に活用していく予定です。短い時間での報告で中嶋さんの体験を「もっと聞きたい」という声も多かったです。

活動報告の後、会計報告、2014年度活動案、予算案が滞りなく承認されました。

続いて、会員の皆様から自己紹介をかねてコメントをいただき、「箕面ユネスコの活動をサポートしていきたい」「教育現場で活かしたい」等のコメントに、今年度も箕面市の各学校で計画される教育活動で協力できることがあれば応援団として参加させていただきたいという意を強くしました。ご参加いただいた会員の皆様に心から御礼を申し上げます。

総会終了後は坂口会長が調理された、宮城県気仙沼の牡蠣を使った牡蠣ごはんやはらこめし、わかめサラダ、物産展で好評だった「さんまくん」を食して、ちょっと交流会をしました。

(石橋 晴代)



# 2014年5月25日 ユネスコ総会での報告

## 4年生総合学習「大切なみんなのいのち」活動報告

子どもたちに‘行動する楽しさ’を味わってほしい…坂口さんを交えた学年団のワークショップからスタートさせた豊川南小学校4年生の総合学習。今回の総会では、画像やビデオを交えて活動の報告をさせていただきました。

坂口さんからは、震災直後の体育館での生活や今の被災地のことなどを、ご家族のお話も織り交ぜながら伝えていただきました。家々がすっかり無くなってしまった様子、山のようながれきが延々と続く様子などの写真を見つめながら、食い入るようにお話を聞いていた子どもたちでした。

中でも印象に残ったのは、同じ箕面の地に住むお兄さんお姉さんたちが、写真を洗ったり、ステンドグラスを作り上げて仙台空港に飾ってもらったりしたお話だったようです。「自分も何か役立つことをしたい…」という言葉が、自然に子どもたちの口から出てきました。

以前のニュースレターでもご報告させていただきましたが、子どもたちは、福島県から能勢の地に避難してきた犬や猫たちのためにたくさんの物資を集めたり、震災の様子やその時何ができるかを考え実践してみた事を全校のみんなや保護者に伝えたりしました。

3か月にわたって、4年生の子どもたちは積極的にいきいきと活動を続けました。参観日には、活動への思いをコールや歌で体育館に響かせました。会場全体が息をのんで154名の顔を見つめてくださっているビデオを



見て、私自身改めて子どもたちの成長を思わずにいられませんでした。思いを合わせて全員で表現する力、自分の考えを一人ひとりで伝えるスキル、友だちと協力し認め合う気持ち…。保護者も、子どもたち自身も、彼らの成長を実感することができたと思います。

子どもたちと東日本大震災の被災地をつなぐ…そのことを通して子どもたちの成長に寄与したい、その願いを持ち続けたいと思っています。

(大浜 淳子)

### ..... 総 会 十 五 ..... .....



- 前田 ひとみ理事による東日本大震災復興支援イベント参加の報告。
- 中嶋さんタイのスラム等での活動報告
- 坂口会長による平成25年度活動報告
- 総会終了後、牡蠣ごはんなどで「ちよっと交流会」



## \* 箕面ユネスコ協会の活動経過報告 N04

～ 東日本大震災の被災地とつながる！ 高校生による東北ボランティア支援 ～

3年前の東日本大震災は未曾有の被害をもたらし、多くの命を奪い、多くの人生を一変させました。東日本大震災を機とし、ボランティアや募金、被災地と主体的な関わりを持った高校生や大学生は全国各地に広がりました。現地には行けなくとも誰もが何かしたいと思ったはずです。

はからずも、震災支援における青少年の関わりは、「被災地からの学び、社会貢献の意識を育む場」ともなりました。震災、その記憶が薄れていく中で、大事なことは、「被災地の問題や課題を自分こととして捉えること。被災地を忘れない」ことです。箕面ユネスコ協会は震災地支援を通し、世界で起こる、人権問題、国家間の対立、戦争、環境問題などが、遠いところで起きている問題ではなく、自分たちが解決していく課題であることを、学んでほしいと思っています。この夏、高校生の東北ボランティアを支援しました。

★ 7月21日～25日 南三陸・気仙沼・陸前高田へ…気仙沼大島牡蠣養殖のボランティア・交流

北摂つばさ高校 「がんばれつばさネットワーク」51名 〈松原高校、コリア国際学園、春日丘高校〉



★ 8月16日～20日 南三陸・気仙沼・陸前高田へ …気仙沼高校での交流・海は森の恋人和船体験

全国のユネスコスクール・ユネスコ協会推薦により応募した33名（公益社団法人日本ユネスコ協会連盟事業）



